

■高校野球のケーススタディー（第17回）■



一般財団法人兵庫県高等学校野球連盟

高校野球における公式試合や練習試合の中で生じたプレイの中で、“こんなプレイ、ルールではどうなるの？”といった疑問について、ルールの側面から解説します。

○ 試合開始前のウォーミングアップ中、先発選手が負傷し出場不能に・・・対応はどうなるの？

春季地区大会でのことです。攻守決定をし、メンバー用紙の交換後、試合前のウォーミングアップをしていたとき、先発出場予定の1塁手が負傷しました。怪我の程度が重く、試合に出場できない旨、当該チームの責任教師から申し出がありました。すでに、メンバー用紙の交換を行っていますが・・・ルール上、どのように対応するのでしょうか。

公認野球規則においては、次のように規定されています。（規則 4.03(d)）

「球審による打順表（＝メンバー用紙）の手交は、それぞれの打順表の確定を意味する。したがって、それ以降、監督がプレーヤーを交代させるには規則に基づいて行わなければならない。」

そこで、高校野球特別規則では、6 試合開始前の負傷による選手変更の特例」が定められています。

オーダー用紙交換の後、試合開始前の両チーム整列までの間に、オーダー用紙に記載された先発出場選手が突発事故により止むを得ず出場が不能となった場合、控え選手を交代出場させることができる。その場合は、出場不能となった選手の打撃順を受け継ぐが、守備位置の変更は認める。また、出場不能となった選手は出場しなかったことになり、回復すれば以降の試合に出場することができる。

このゲームでは、負傷した1塁手の打順に控え選手が入ることになりました。

守備位置に関しては、その控え選手が1塁手には入らず、他の先発出場の選手のポジションと入れ替えて、スターティングメンバーを確定させることができました。

相手チームにも、大会本部を通じて、当該規則を適用しメンバー交代を行う旨の説明を行いました。

試合前に予期しない突発事故があった場合には、チーム全体にも動揺を与えるものです。指導者の方は、このような対応があることも覚えておく必要があるでしょう。

また、2021年度の高校野球特別規則の改正で、「4 オーダー用紙の取り扱い」について、一部改正がありましたので、紹介します。（改正箇所のみ抜粋しています。）

ケース 3 ; 試合中に誤記が判明した場合。

(処置 1) -省略-

(処置 2) -省略-

(処置 3) 登録外選手が試合に出場、これがプレイ後判明したときは、大会規定により試合中であれば没収試合とし、試合後であればそのチームの勝利を取り消し、相手チームに勝利を与える。

《今年度の改正で、以降が追記されています》

ただし、上記(処置 3)は、

(1)登録外選手が、当該チームの所属連盟への登録以外の部員であった場合に適用するものとする。

(2)単純なミスの場合(連絡ミスで、登録外選手が当該チームの所属連盟への登録部員である場合など)には適用しない。

① 試合中に判明した場合、その時点でオーダー用紙に記載されている選手に交代させ試合を継続する。それ以前の当該選手のプレイは全て有効とする。

② 試合後に判明した場合でも、当該選手のプレイは全て有効とし、処置 3 は適用されない。

(規則 4.03) (アマチュア野球規則委員会 2018 年通達)

これは、2018 年全日本野球協会アマチュア野球規則委員会から、没収試合の防止に向けての通達があったことに基づき、単純なミスの場合は没収試合を適用せず、悪質な場合(登録外選手が当該チームの所属連盟以外の部員であった)のみ適用することとされたものです。

表題デザイン協力：兵庫県立姫路工業高等学校デザイン科
飛田 紀香さん(73 回生) 坂田 朋葉さん(73 回生)